

◇医療施設アンケート調査

1. 調査の実施概要

表 調査の実施概要

項目	内容
調査の目的	通院者の主な移動手段や方面などの移動実態の他、公共交通に対する意向・要望や、独自の移動サービスの運行状況などを把握することを目的とする。 特に、高齢化によってニーズの増大が予見される通院患者の交通アクセス状況や関連する困りごとについて把握する。
調査の対象	県内に立地する病院 ※診療所（20床以下）及び精神科のみの病院を除く
実施方法	メールによる配布・回収
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・ 目的別の1日あたり来院者数・ 来院集中時間帯・ 来院時の移動手段・ 病院独自の移動サービスの利用状況・ 駐車場に関する取組の事例・ 公共交通に関する取組の事例・ 公共交通に対して求める事項
回答状況	配布数：134施設、回答数：69施設（回収率51.5%）

2. 調査結果

【医療施設アンケート調査結果まとめ】

■来院者の移動実態について

通院のための来院者の移動時間として、どの圏域においても行きは8時～9時台がピークであり、11時頃まで分散、帰りは10時～11時がピークであり13時頃まで分散している。一方で面会のための来院者の移動時間は行き帰りともに14時～15時半に集中している。

移動集団としては通院者・面会者ともに自家用車による通院が全ての圏域で多く公共交通による移動は少ない現状であることを把握した。公共交通として、主に「バス」や「タクシー」が利用されているが「鉄道（地下鉄）とバス（タクシー）の併用」といった使われ方もある。

なお、自家用車が多いため、無料の駐車場や提携駐車場の駐車券を持参すると無料となる取組を実施している医療施設も存在する。

→運行時間の調整及び公共交通の利用促進が必要

■公共交通に対する意見・取組について

公共交通の利用促進として「来院時の呼びかけ」や「時刻表の掲示」を行っている施設が多い。加えて、デマンドを運行している場合には、次回の診察と併せて「デマンド予約の受付」を行っている施設も確認した。

一方で「バス停がない」や「診察時間と合わず長時間待つ」といった声やデマンドにおいては「診察終了時間がわからないため予約できない」といった声も挙がっている。

→利用促進に関する取組の横展開および不便地域の利便性の向上が必要

(1)アンケートの回収状況

アンケートの回収状況は以下のとおり。各圏域で回収率が約3割を上回る結果となった。

病床数別の回答施設数をみると、仙南圏域と仙台圏域、大崎・栗原圏域では「100床未満」が、石巻・登米・気仙沼圏域では「100床以上200床未満」が最も多い。

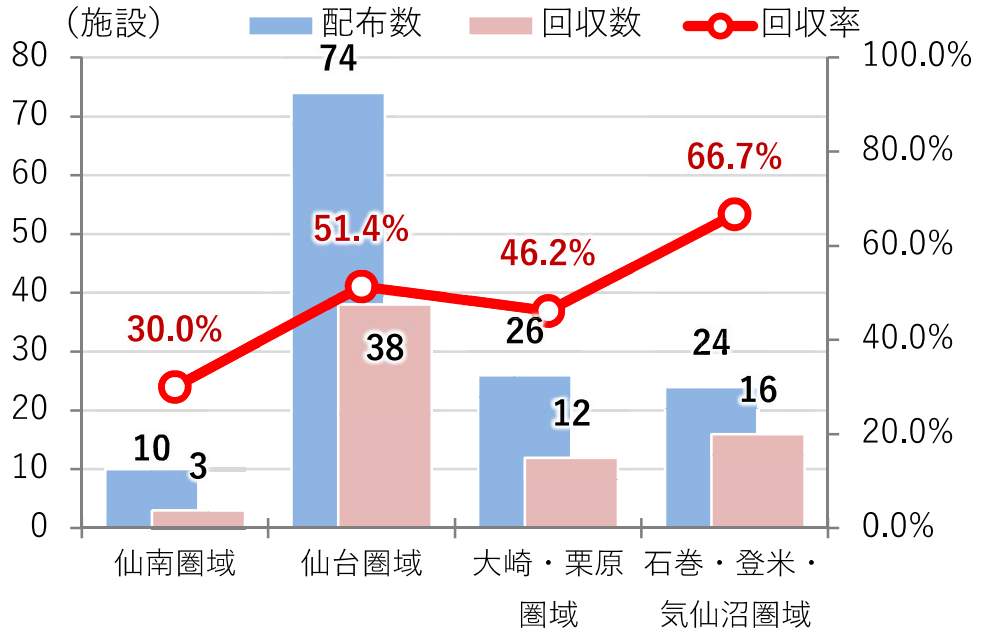


図 圏域別の回収状況

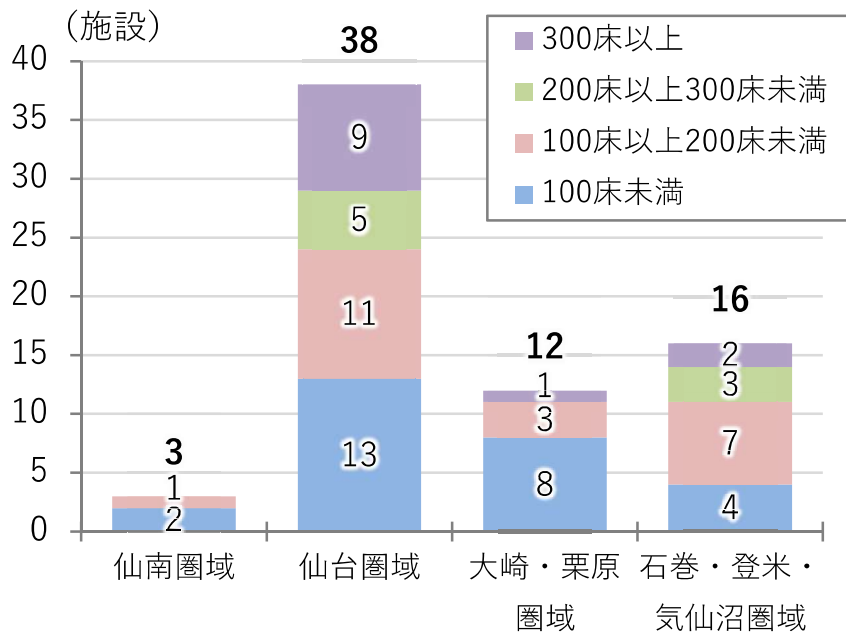


図 圏域別の病床数別回答施設数

(2)1日あたりの来院者数について

1日あたりの来院者数は、各圏域とも「通院者」の来院が多くみられた。

圏域別にみると、仙台圏域と大崎・栗原圏域、石巻・登米・気仙沼圏域では「300床以上」の病院への「通院者」が最も多く300.0人/日以上、仙南圏域では「100床以上200床未満」の病院への通院者が最も多く90.0人/日となっている。

そのほか、仙台圏域と石巻・登米・気仙沼圏域では「300床以上」の病院への面会者も多くみられた。

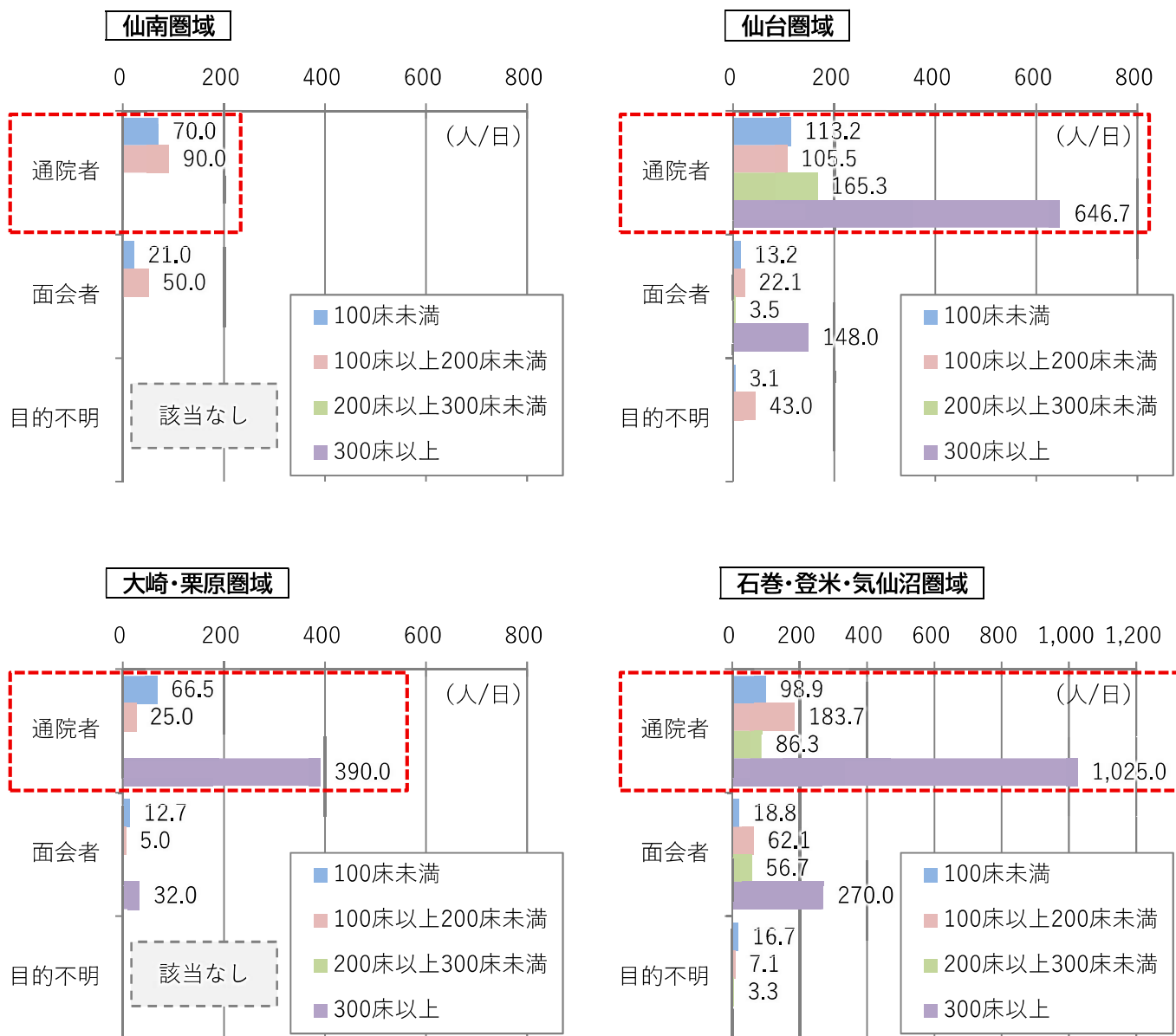


図 病床数別の1日あたりの通院者・面会者数

(3)来院者が集中する時間帯(受診目的の場合)

受診目的での来院者が集中する時間帯は、仙台圏域と大崎・栗原圏域では「9時～10時30分」、仙南圏域では「10時～10時30分」、石巻・登米・気仙沼圏域では「8時30分～9時30分」の来院が多い。午後からの来院はあまり見られなかった。

帰宅時間帯は、仙台圏域と石巻・登米・気仙沼圏域では「11時～12時30分」、仙南圏域では「11時～11時30分」、大崎・栗原圏域では「10時台」に帰宅する方が多くみられた。

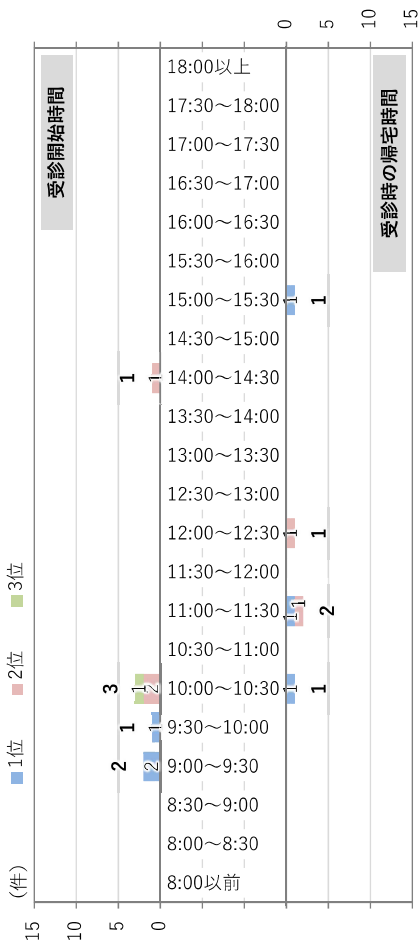


図 受診目的の来院者が集中する時間帯 仙台圏域

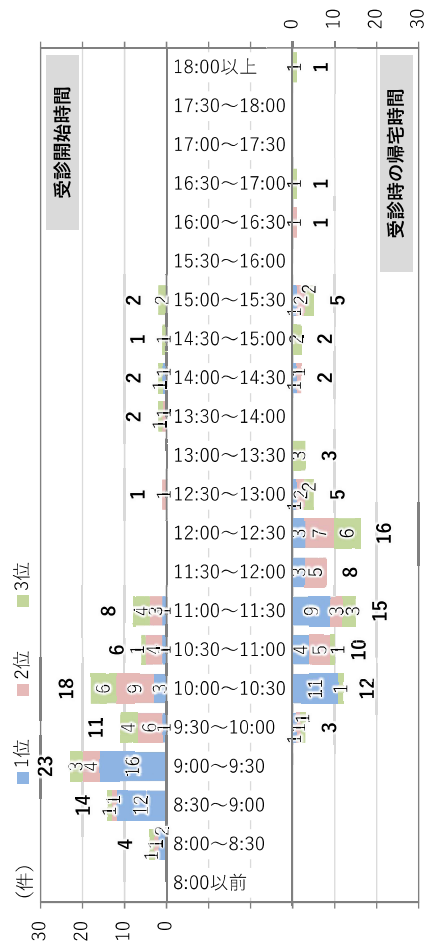


図 受診目的の来院者が集中する時間帯 仙南圏域

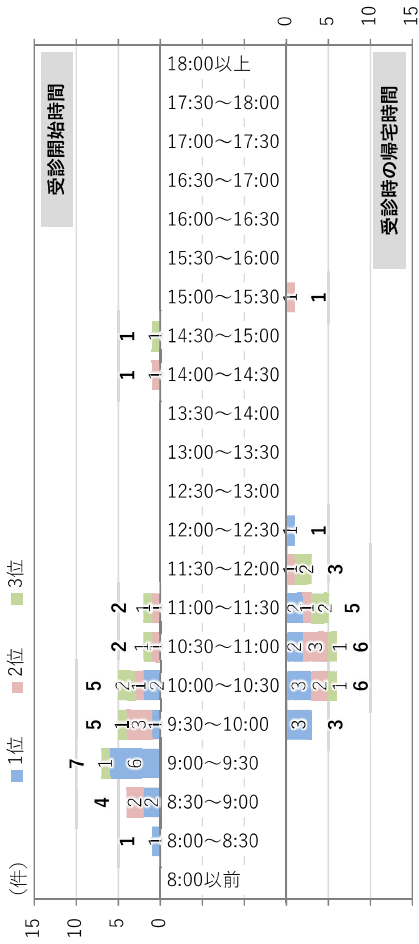


図 受診目的の来院者が集中する時間帯 大崎・栗原圏域

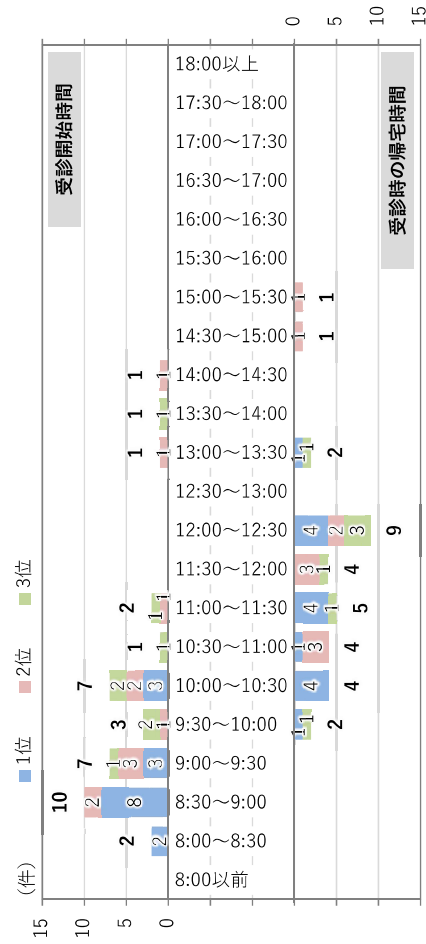


図 受診目的の来院者が集中する時間帯 石巻・登米・気仙沼圏域

(4)来院者が集中する時間帯(面会目的の場合)

面会目的での来院者が集中する時間帯は、仙台圏域は、「15時～15時30分」、仙南圏域では「15時～15時30分」、仙南圏域では「14時～14時30分」の来院が多い。午前からの来院はあまり見られなかった。

帰宅時間帯は、仙台圏域と大崎・栗原圏域、石巻・登米・気仙沼圏域では「15時～15時30分台」、仙南圏域では「14時30分～15時30分」に帰宅する方が多くみられた。

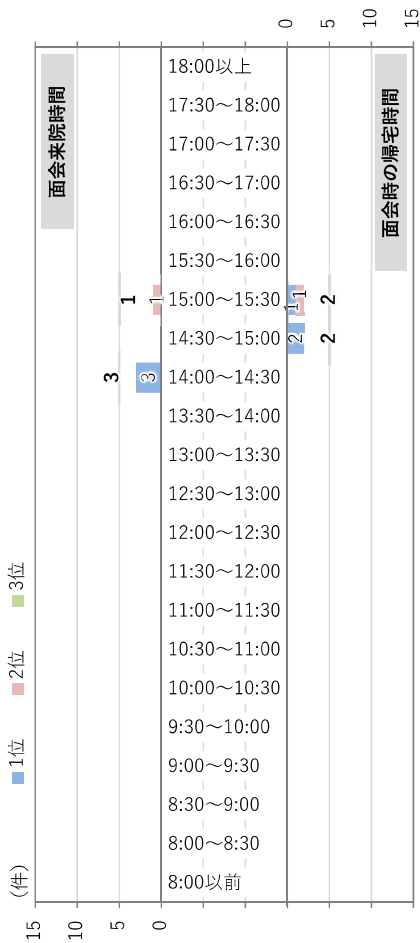


図 面会目的の来院者が集中する時間帯 仙台圏域

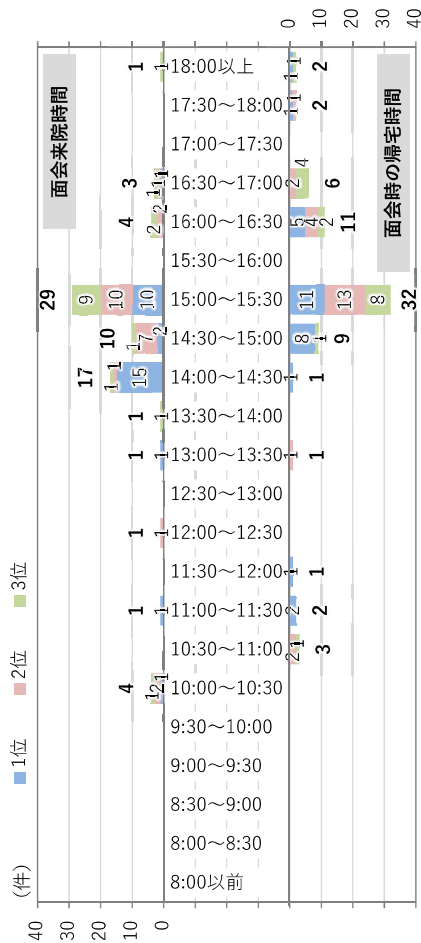


図 面会目的の来院者が集中する時間帯 仙南圏域

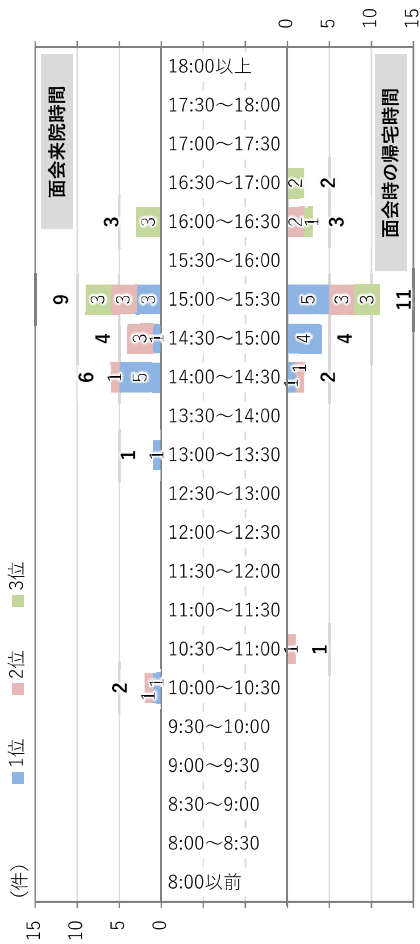


図 面会目的の来院者が集中する時間帯 大崎・栗原圏域

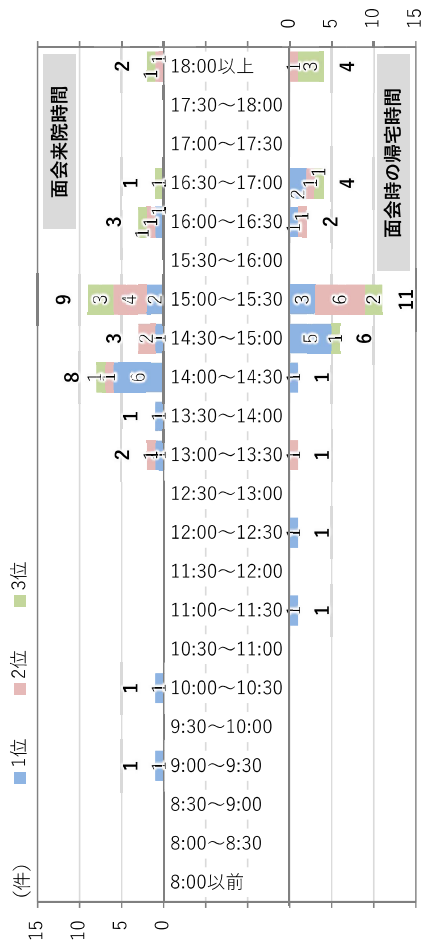


図 面会目的の来院者が集中する時間帯 石巻・登米・気仙沼圏域

(5)来院時の移動手段

来院時の移動手段の割合は、ほぼ全ての目的・圏域で「自家用車」での来院が最も多くなっている。

また、通院目的での来院者の移動手段についても、ほぼ全ての病院で「自家用車」が最も多くなっているが、仙台圏域では「公共交通」の利用が一定程度みられる。

表 来院時の移動手段の割合 (%)

施設名	通院者				合計
	徒歩・自転車のみ	自家用車	公共交通	自施設の患者送迎	
仙南圏域	4.7%	86.7%	5.3%	3.3%	100.0%
仙台圏域	8.1%	66.3%	20.8%	4.8%	100.0%
大崎・栗原圏域	7.7%	83.3%	9.0%	0.0%	100.0%
石巻・登米・気仙沼圏域	7.6%	80.3%	8.7%	3.4%	100.0%
全体	7.7%	73.6%	15.1%	3.6%	100.0%

(%)

施設名	面会者				合計
	徒歩・自転車のみ	自家用車	公共交通	自施設の患者送迎	
仙南圏域	1.7%	93.3%	5.0%	0.0%	100.0%
仙台圏域	3.2%	84.0%	9.5%	3.3%	100.0%
大崎・栗原圏域	2.7%	95.4%	1.9%	0.0%	100.0%
石巻・登米・気仙沼圏域	5.5%	90.5%	4.0%	0.0%	100.0%
全体	3.4%	88.3%	6.5%	1.8%	100.0%

(%)

施設名	目的不明				合計
	徒歩・自転車のみ	自家用車	公共交通	自施設の患者送迎	
仙南圏域	—	—	—	—	—
仙台圏域	22.9%	52.1%	24.0%	1.0%	100.0%
大崎・栗原圏域	33.3%	0.0%	33.3%	33.4%	100.0%
石巻・登米・気仙沼圏域	21.6%	37.3%	21.6%	19.5%	100.0%
全体	24.3%	39.0%	24.9%	11.8%	100.0%

(6) 駐車場に対する取組について

病床数別の駐車可能台数をみると、仙南圏域では「100床以上200床未満」が、仙台圏域と石巻・登米・気仙沼圏域では「300床以上」が、大崎・栗原圏域では「100床未満」の駐車台数が最も多い。

有料駐車場利用時の助成内容は、ほぼ全ての病院で、「施設駐車場の利用を基本とし、有料駐車場利用者への助成は行わない」との回答が多くみられた一方で、「駐車券の提示で割引券・無料券を配布」といった助成を実施している病院もみられた。

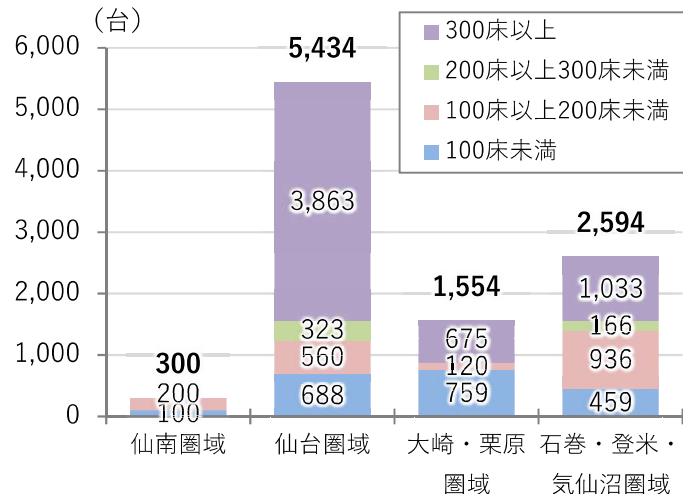


図 圏域別の病床数別の駐車可能台数

表 施設周辺の有料駐車場利用時の助成内容

圏域	内容
仙台圏域	当院利用者については、市が運営している有料駐車場を使用してもらっている。その為、受診した方については、2時間無料のサービス券を配布。(2時間分の費用は当院にて負担)
	当院隣地の提携駐車場の駐車券を持参した方には診察後、無料処理を行っている
	当院駐車場(無料)以外に、近隣に有料駐車場等はない。
	ホームページ上で公共交通の利用をお願いしている。
	周辺に有料駐車場は存在しない。
	終日無料。
	施設の前の提携駐車場の駐車券を持参した方には診察後、割引処理を行っている。
	当院患者駐車場利用者のみ、受診患者・付き添い者に対し、駐車場代 100円の割引処理をしている。
	有料駐車場の利用無し、助成無し。
大崎・栗原圏域	無料。
	駐車場は無料。
石巻・登米・気仙沼圏域	駐車場は無料。
	有料駐車場なし。

(7)公共交通に対する取組について

1)施設利用者から移動手段に関して求められていること

施設利用者からの移動手段に関して求められていることについては、以下のとおり。

特に「バスの運行経路・時刻の調整」や「運行内容の周知」が求められており、中でも石巻・登米・気仙沼圏域の医療施設から求められている。

表 施設利用者から移動手段に関して求められていること

	仙南圏域	仙台圏域	大崎・栗原圏域	石巻・登米・ 気仙沼圏域	合計
診察終了時間が不明なので デマンドの予約ができない	0	0	1	1	2
デマンドの運行時間と診察時間の調整	0	0	1	0	1
バスの運行経路・時刻の調整	0	1	0	2	3
新たな移動手段の提供	1	1	0	0	2
診察後のタクシーの呼び出し	0	1	0	0	1
夜間・救急車来院者の帰宅手段の提供	0	0	1	0	1
駐車場不足・混雑の解消	1	1	0	0	2
周辺駐車場の割引サービス	0	1	0	0	1
駐輪場の拡充	0	1	0	0	1
運行内容の周知	0	0	0	3	3
送迎バスの効率化	0	0	0	1	1
その他	0	1	0	0	1

2)公共交通利用促進の取組実施例

公共交通利用促進の取組事例については、以下のとおり。

どの圏域の病院においても待合室等での「運行内容・時刻表の周知」が行われている。

表 公共交通利用促進の取組実施例

	仙南圏域	仙台圏域	大崎・栗原圏域	石巻・登米・気仙沼圏域	合計
デマンドの予約支援	0	0	1	0	1
敷地内へのバスの乗り入れ	0	1	1	0	2
タクシー駐車スペースの設置	0	1	0	0	1
タクシー会社直通電話の設置	0	4	0	0	4
運行内容・時刻表の周知	2	15	4	8	29
その他	0	1	0	0	1

3)施設利用者のための移動手段確保に関する意見・要望

施設利用者のための移動手段確保に関する意見・要望については、以下のとおり。

特に「自家用車から公共交通への転換」が求められているが、その理由として「通院者の安全面」を考慮する考えが一部の施設からはあるものの、主に「駐車場不足・混雑の解消」が目的となっている。

表 施設利用者のための移動手段確保に関する意見・要望

	仙南圏域	仙台圏域	大崎・栗原圏域	石巻・登米・気仙沼圏域	合計
公共交通に期待していない	0	1	0	0	1
バスの乗入れ・経路拡充	0	2	0	2	4
タクシー会社への連絡手段の整備	0	1	0	0	1
公共交通の継続	0	1	0	0	1
自家用車から公共交通への転換	0	8	0	4	12
駐車場不足・混雑の解消	0	8	0	3	11
患者送迎に対する補助	1	1	0	0	2
その他	1	1	0	0	2